

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
(TEL) 6765-8904
(FAX) 6765-8905

府立支援学校の新校整備を求める署名を 全教職員の力で大きく飛躍させよう！

障害のある子どもたちに 当たり前前の教育条件整備を！

大障教をはじめ、府内の障害児者団体でとりくんできた「早急に児童生徒増に見合った府立支援学校の新校整備を求める請願」署名が1万8315筆(12月10日時点)に到達しました。

各地域分會では、街頭署名宣伝行動や管理職・PTA役員との懇談、地域のつながりを活かして、就学前施設や作業所等障害児者施設、また、地域労連や民主団体等への署名の要請などさまざまにとりくみがすすめられています。

2月府議会の署名提出まで残り2カ月。あらゆる結びつきを活かして署名をあげ、府議会に「支援学校の新校整備を」の声を届けましょう。

訴えれば広がる新校整備を
求める私たちのねがい

PTA役員との懇談をおこなった分會や街頭署名宣伝行動をおこなった父母や教職員は、府教委がすすめる「府立支援学校における知的障がい児童生徒

教職員を増やして 長時間過密労働の解消をおこなえ！

今国会に提出されていた教員への「一年単位の変形労働時間制」導入を可能とする給特法改悪案は12月4日に参議院本会議で採決が強行され、立憲民主・国民民主・共産・社民・れいわなどの野党の強い反対を押し切って、自民・公明・維新などの賛成多数で採決・成立しました。

国会審議を通じて、「一年単位の変形労働時間制」は萩生田文科大臣が認めたように授業期間中の労働時間を減らすことには一切つながらなければいか、授業期間中の勤務時間を延長することで長時間労働をさらに増大させ、時間外勤務を見かけ上縮減させることで長時間過密労働が改善されたかのように見せる意図があることは明らかです。また、労働条件の重大な不利益変更であることから、労基法が労使協定を義務付けているにもかかわらず、条例制定によって導入できるとしていることは断じて容認できません。

しかし、審議の中で、野党議員の追及により政府・文科省が条例制定の段階で各学校の意向を踏まえると答弁したこと、そして、条例を策定しないこともありうると認めさせました。

大障教は、「一年単位の変形労働時間制」導入に断固として反対し、大阪府での条例制定を許さないたたかい、学校現場に持ち込ませないたたかいに引き続き全力をあげます。また、長時間過密労働の解消に向けて、教職員定数の抜本改善、給特法の抜本改正に向け、全力をあげます。

「一年単位の変形労働時間制」に道を開く 給特法改悪案の採決強行・成立

の教育環境の充実に向けた基本方針の問題点、府立支援学校の劣悪な教育条件の現状や新校整備の必要性を対話の中で訴えることで、「関心をもつ

2年目となる「新校整備を求める請願」署名は、今年も2月府議会に提出します。冬休みは署名をひろげる大きなチャンスです。全国どこの方でも署名していただけます。

で、親戚のあつまりや帰省先、同窓会などで、いろいろなあつまりに署名用紙を持って出かけ、人権侵害ともいえる子どもたちの教育条件の改善を求めて署名にとりくむことをよびかけます。

冬休みを契機に署名を大きくひろげよう！

て署名をしてくれた「たくさん」の署名用紙を持ち帰ってくれた」と署名よびかけの手伝いを語っています。また、「過大・過密」の解消は、子どもたちの教育条件整備とともに、長時間過密労働など教職員の働き方の問題解消にもつながるものです。「障害のある子どもたちに当たり前前の教育条件整備を！」「子どもたちの笑顔あふれる学校を！」などの私たちのねがいは、誰もが協力をしてくれる中身であることに確信を持ってよびかけをひろげてください。

大障教ホームページアドレス <http://fc06331220171211.web2.blks.jp/> Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



安倍政権が10月1日に10%への消費税率を引き上げてから2カ月がたちました。安倍政権による2度目の消費税率引き上げによる増税は、私たちの日々の暮らしに実感として悪影響を与えています。

とりわけ政府が消費税対策を口実に実施している「ポイント還元」は、税の公正・公平を脅かしています。経済産業省によると先月21日時点での、キャッシュレス払い時の「ポイント還元」に登録している店舗は77万店舗で、登録店舗は大都市が中心です。全国1741市区町村のうち東京都青ヶ島村、新潟県粟島浦村など7つの自治体では、1店舗も登録がありません。「キャッシュレス・ポイント還元事業」のホームページで「日本どこでも最大5%還元」と紹介しますが、住む地域によって「恩恵」が受けられない不公平が生じているのはあきらかです。

政府が「ポイント還元」を推進するのは、消費税増税によって消費が冷え込むことを恐れるからです。しかし、経済産業省が先月28日に発表した10月の商業動態統計によると、小売販売は前年度比7.1%減の1兆900億と3カ月ぶりの減少となり、2015年3月(9.7%減)以来の落ち込みとなりました。前回増税時の14年4月時の4.3%減を上回るマイナス幅になっています。台風19号の影響を含めたとしても、消費税増税が大いに影響していることはぬぐいきれません。

10%増税による消費不況が深刻化する前に、「ポイント還元」といった一部の人が恩恵にあずかる対策ではなく、早急に消費税を5%に戻すことこそ、公平・公正な減税であり景気対策です。

ブロック別
学習会
シリーズ⑤

ろう学校4校交流会

聴覚障害のある先生のお話を聞きました

10月25日(金)、大阪府内ろう学校の4校交流会を行いました。
中央聴覚・堺聴覚・生野聴覚・だいせん聴覚高等支援の4校と本部から
1名が参加し、30名が集まり学習しました。

今回は聴覚障害のある先生のお話を聞こうというこ
とで、中央聴覚支援学校の
山口亜希子さんと生野聴覚
支援学校の与那覇里美さん
にお願いしました。山口さ
んは、「仲間をつなげる、仲
間とつながるく働く環境を



つくる知恵と工夫、そして
勇気」と題して、近畿地区
聴覚障害教職員懇談会(近
聴教)の事務局長として、仲
間とのつながりや大切にし
ていることを語りました。
また、聴覚障害のある教職
員の採用数が一番多いのは
大阪府で、採用数が0なのは
高知県といった具体的な
情報や、近聴教でのとりく
みなどにも触れました。

ろう学校4校交流会の様子



与那覇さんは、「ろうの感
性あれこれ」と題して、聴覚
障害のある方がわかりにく
いと感じやすい言い回しな
どを「あるある話」として

具体的な例を挙げながら紹
介しました。また、日本手話

の独特の文法表現などにつ
いても触れられました。ご
自身の経験については、「小
学3年までは日本語が難し
かったが、担任の先生が非
常に熱心で、書いた文章を

赤でびっしりと訂正された
が、おかげで日本語が習得
できた。あなたの文章は素
敵だと褒めてもらったこと
が、書くことを好きになっ
たきっかけだった」とのエ

ピソードを紹介しました。



参加者からは、「リアルな
話が聞いて良かったです。
聴覚障害の方の考え方とか
を聞いて、そうだったんだ
とびっくりすることが多
かったです」「近聴教につ
いて名前は聞いたことがあ
りましたが、詳しく知ること
ができて勉強になりました」
「おもしろかった」といっ
た感想が寄せられました。

第19回 全国障害児学級&学校 学習交流集会 in 兵庫

日程：1月11日(土)~13日(月)

11日：全体会(神戸芸術センター) 13:00~16:30

養護学校義務制40年企画 三木裕和さん(鳥取大学)

記念講演「障害児教育の魅力
を改めて考える~発達理解の視点から~」

講師：赤木和重さん(神戸大学)

絶対に、
おすすめですよ！
(情宣部)

心で感じる学級&学校集会！

みなさん、「全国障害児学級&学校学習交流集会」へ参加したことはありますか？私は2年前の奈良開催の時に初めて参加しました。その時の学習の成果は、「子どもをどれだけ広い心で受け止めてあげられるか」ということです。

私たちは、日々子どもたちの姿を将来へつなげ、一人ひとりを丸ごと理解してあげられる身近な存在なのだと思います。それは決して容易なことではありませんが、「教育の営み」について改めて語り合っています。



樋口 真弓

(寝屋川支援学校分会)